

## 播磨科学公園都市のあり方検討 まちづくりチーム 第1回 記録

### ■開催概要

- ・日 時：2026年5月12日（火） 18:00-19:30
- ・場 所：光都プラザ コミュニティスペース cotohana（コトハナ）
- ・参加者：コーディネーター/有識者（2人）  
          地域住民（11人）  
          行政職員（11人）
- ・プログラム内容：
  1. 開会
  2. 概要説明
  3. ワークショップ（意見交換）
  4. 意見の共有
  5. 閉会

### ■ワークショップ（意見交換）の記録

- ・4班（当日参加の住民班含む）に分かれて意見交換を行い、論点を基に具体的な検討項目を整理した。冒頭で全体に進め方を説明した後、各班で自己紹介を行い、各自が付箋1～2枚に意見を記入し、貼り出しながら共有した。その後、班員同士で全体を俯瞰して不足している視点を確認し合い、追加意見共有した。最後に話し合った内容を全体に向けて発表し合った。

【1班】

主な論点	検討項目（素案）	付箋に記載の意見
●日常生活（医療・福祉・買い物等）の基盤の確保	地域医療	・災害対応型総合病院 自然災害が少ない街を利用／届出ができる病院
	買い物	・買い物 使いましょう ・商業施設 増
●くらしの安全（防災・防犯等）の確保	防災	・歩道の整備（点字ブロックの雑草）
	防犯	—
●公共交通機関等の交通利便性、持続可能なモビリティの確保	地域交通	・交通手段 BRT？ ・電車が欲しい ・三日月駅から新交通システム（鉄道） ・バス 増 ・運賃が高い バス 都市部へのアクセス←直通？
●住環境の質の確保（豊かな自然環境との調和、多様な世代への配慮等）	豊かな自然環境との調和	・ネット環境の充実
	多様な世代への配慮	—
●働く場・環境の確保	働く場	・働く場所 周辺地域の受け皿
	働く環境	—
●多様な人がつながるコミュニティの形成	環境整備	・隣保事業 ・ガチャランド おもちゃ屋 ・コスプレイベント ・B' zを呼ぶ ライブハウス ビアホール ・若者が楽しめる施設→学生の定住者増加へ
●質の高い教育環境の確保	教育環境の確保	—
●学生・研究者にとって魅力あるまちづくり	魅力あるまちづくり	—
●研究機関×大学×企業×地域による新たな学び・交流の創出	学び・交流の創出	・学区外からの児童・生徒の受入
●住民・学生・研究者等多様な人が交流する機会・場（空間）の創出	機会、場（空間）の創出	—
●都市ブランドや魅力の創出・発信、シビックプライドの醸成	都市ブランドや魅力の創出・発信	—
	シビックプライドの醸成	—



【2班】

主な論点	検討項目（素案）	付箋に記載の意見
●日常生活（医療・福祉・買い物等）の基盤の確保	地域医療	・子どもが住みたくなる仕掛け、工夫（住んでよかった）
	買い物	・飲食・服のお店欲しい（バイト先としても住む場所としてのレベル上げとしても） ・お買い物ヘルパーが必要では？ ・集客力のある店 ・サイズなど安く！おいしい店ください
●くらしの安全（防災・防犯等）の確保	防災	・防犯カメラの設置
	防犯	—
●公共交通機関等の交通利便性、持続可能なモビリティの確保	地域交通	・自動運転 ・自動運転カー ・自分たちが実験体となる ・周辺の市町から気軽に来られる
●住環境の質の確保（豊かな自然環境との調和、多様な世代への配慮等）	豊かな自然環境との調和	—
	多様な世代への配慮	—
●働く場・環境の確保	働く場	・企業誘致をまだまだ進めたい ・第2工区、第3工区あきらめない ・学生向け？のチェーン店とか・・ ・Spring-8-II開始時に海外企業も呼び込む
	働く環境	・ネットワークを最新に
●多様な人がつながるコミュニティの形成	環境整備	・強制されない つながり、ネットワーク
●質の高い教育環境の確保	教育環境の確保	・科学（Spring-8）を活かした特色ある授業
●学生・研究者にとって魅力あるまちづくり	魅力あるまちづくり	・学生を大切に！大事に！
●研究機関×大学×企業×地域による新たな学び・交流の創出	学び・交流の創出	・研究紹介
●住民・学生・研究者等多様な人が交流する機会・場（空間）の創出	機会、場（空間）の創出	・若い人から何が習う ・ここに住みたいと思うには全世代が安心して住めること ・安心安全な街に
●都市ブランドや魅力の創出・発信	都市ブランドや魅力の創出・発信	・魅力の発信→人が集う仕掛け（店？自然？） ・有名建築家建造物 観光に活かす

信、シビックプライドの醸成	シビックプライドの醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛着のある場所を紹介し合う</li> <li>・夕日のキレイなスポット</li> </ul>
●既存施設、未利用地、遊休施設等の有効活用	資産の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフラ整備を生かす 水設備を半導体企業誘致</li> </ul>
●若者等の定住・雇用環境の整備	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローカル光ケーブルが1社独占 ビジネス出来ない</li> </ul>
●自然、都市の魅力を活かしたまちの魅力づくり、イベントの展開	魅力づくり、イベント展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しいと思える経験を重ねる</li> <li>・地元ですでにある店を学生に知らせる</li> </ul>
●その他の意見		
○テーマ、項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このカテゴリーは細分化しすぎ</li> <li>・課題のカテゴライズに関する議論が必要</li> <li>・住民のインターネット環境が劣悪</li> </ul>	
○長期のVision	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心な！！・防災・高齢者・教育・防犯→文化を拓く！ ↑・基本は災害少なく安心</li> <li>・科学だけではない！！</li> <li>・社会実験に最適の場所 住民を巻き込む</li> <li>・住民の多様性→時間もある</li> <li>・人口が減っていく中での考え</li> <li>・持続可能なまちづくり</li> <li>・大きな目標なしには個々は語れない</li> <li>・長期ビジョン「多様性」「持続可能」「高齢化社会モデル」「住民参加」</li> <li>・穏やかな住民ネットワークの制度化支援 地縁の薄い小規模コミュニティにおけるボランティアの高齢者福祉</li> <li>・建築・景観資源 光都は文化資源である 建築・景観、学術施設などそのものが地域 identity になりうる。</li> <li>・2 文化交流 3 多世代交流 4 多様性の発掘</li> </ul>	
○すすめ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投稿サイトを作って</li> <li>・全体の柱が必要では？</li> <li>・芯がある議論を！！</li> <li>・集まる→話し合う 意見交換するのがよいと思う</li> <li>・OPEN でなくてよいので投稿サイトつくって下さい</li> </ul>	

<特記事項・コメント>

- ・検討項目の整理についてもさることながら、そもそも何を指すのか（全体的な進め方や長期のビジョン）が重要だという意見が出た（→「●その他の意見」として記載）。
- ・検討項目リストについては、カテゴリーが細かすぎる、あるいは長期短期などが混ざっているなど、カテゴライズが必要との意見があった。
- ・住民の意見を発信・共有する投稿サイトがあると良い、意見交換の必要性、芯があるしっかりとした議論が必要だとの意見が挙げられた。



【3班】

主な論点	検討項目（素案）	付箋に記載の意見
●日常生活（医療・福祉・買い物等）の基盤の確保	地域医療	・リハビリテーション病院で健診が出来る。オンライン診療が出来る
	買い物	・上郡光都のあかねちゃんバス乗り入れ ・相生からの交通手段（運賃、頻度等）
●くらしの安全（防災・防犯等）の確保	防災	・防災拠点になる。防災医療拠点になる。兵庫県の防災を引き受ける。
	防犯	—
●公共交通機関等の交通利便性、持続可能なモビリティの確保	地域交通	・姫新線をもっとテクノと連携させて欲しい。自転車そのまま乗せられる。 ・播磨道を使いやすくして欲しい。
●住環境の質の確保（豊かな自然環境との調和、多様な世代への配慮等）	豊かな自然環境との調和	・自然に関するマップ作成（星の広場など）
	多様な世代への配慮	・互助による買い物支援。 ・高齢者の集える場の創出
●働く場・環境の確保	働く場	—
	働く環境	—
●多様な人がつながるコミュニティの形成	環境整備	・多様な主体がつながる場の創出 ・地域コミュニティづくりを活性化 ・栗の木谷公園を日本一の公園にもっと美しく出来る（住民協力も）
●質の高い教育環境の確保	教育環境の確保	—
●学生・研究者にとって魅力あるまちづくり	魅力あるまちづくり	—
●研究機関×大学×企業×地域による新たな学び・交流の創出	学び・交流の創出	—
●住民・学生・研究者等多様な人が交流する機会・場（空間）の創出	機会、場（空間）の創出	—
●都市ブランドや魅力の創出・発信、シビックプライドの醸成	都市ブランドや魅力の創出・発信	・県大理学部のアピール（他大学の院生）
	シビックプライドの醸成	・光都をもっと知ることができる場が欲しい
●既存施設、未利用地、遊休施設等の有効活用	資産の有効活用	・オプトピアの映画館活用 ・芝生広場の有効活用 ・サンライフの県住を会社に ・買い物：スーパー

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信の充実 姫路ケーブルしかない</li> </ul>
●若者等の定住・雇用環境の整備	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅用地を産業用地へ転用</li> <li>・SNS等でバズる店 etc</li> </ul>
●自然、都市の魅力を活かしたまちの魅力づくり、イベントの展開	魅力づくり、イベント展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光都てくてくマーケットの活用</li> <li>・サッカー場の充実</li> <li>・「播磨科学公園都市」の名前を変える。「科学」「公園」だけではない。防災、スポーツ、教育</li> <li>・スポーツ公園になったらよい。サッカーはある。プールもある。サイクリング、ターミナル テニスも 他にも etc</li> <li>・目玉になる施設（人が集まる）</li> <li>・交通網</li> </ul>

<特記事項・コメント>

- ・地域交通と買い物については相生・上郡・姫路からの交通手段確保や播磨道の充実などテクノ外へのアクセス手段を確保するべきとの意見が多く挙がった。
- ・多様な主体がつながる場など地域コミュニティづくりの活性化や、住民の協力の上で栗の木谷公園を日本一にといったアイデアも出た。また互助による買い物支援など、住民が主体となった活動で暮らしや環境を充実させるような方向性が示された。
- ・既存施設や豊かな自然を活かしたテクノの魅力発信についての意見も多数挙がり、それを通してシビックプライドや都市ブランドの醸成、人が集まることなどを目指すべきだとの意見があった。

<当日の意見>



【4班（当日参加の住民班）】

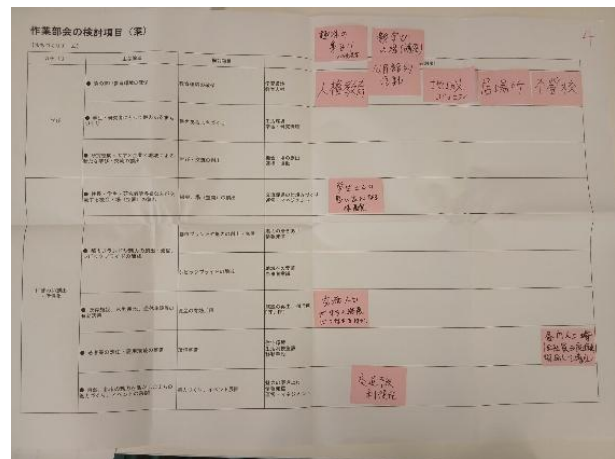
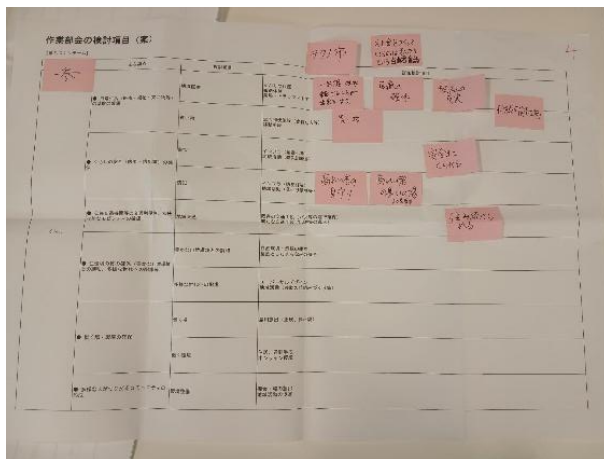
主な論点	検討項目（素案）	付箋に記載の意見
●日常生活（医療・福祉・買い物等）の基盤の確保	地域医療	・一生涯住み続けることが出来るまち ・医療の確保 ・福祉の充実
	買い物	・買い物
●くらしの安全（防災・防犯等）の確保	防災	・安全に暮らせる
	防犯	・高齢者の見守り ・高齢者の集いの場 人の交流①
●公共交通機関等の交通利便性、持続可能なモビリティの確保	地域交通	・住み続けられる
●住環境の質の確保（豊かな自然環境との調和、多様な世代への配慮等）	豊かな自然環境との調和	—
	多様な世代への配慮	—
●働く場・環境の確保	働く場	—
	働く環境	—
●多様な人がつながるコミュニティの形成	環境整備	—
●質の高い教育環境の確保	教育環境の確保	・趣味の集まり 人の交流② ・学びの場（講座） ・人権教育 ・公民館的活動 ・地域コミュニティ ・居場所 ・不登校
●学生・研究者にとって魅力あるまちづくり	魅力あるまちづくり	—
●研究機関×大学×企業×地域による新たな学び・交流の創出	学び・交流の創出	—
●住民・学生・研究者等多様な人が交流する機会・場（空間）の創出	機会、場（空間）の創出	・学生さんの思い出になる体験
●都市ブランドや魅力の創出・発信、シビックプライドの醸成	都市ブランドや魅力の創出・発信	—
	シビックプライドの醸成	—

●既存施設、未利用地、遊休施設等の有効活用	資産の有効活用	・交流人口がまちの発展につながる何か
●若者等の定住・雇用環境の整備	環境整備	・昼間人口増、会社員→定住化 夜間人口増加
●自然、都市の魅力を活かしたまちの魅力づくり、イベントの展開	魅力づくり、イベント展開	・交通手段 利便性
●その他の意見		
○コンセプト、キーワード	・テクノ市 ・持続可能なまち ・社会をつくっているのは私たちという当事者意識	

<特記事項・コメント>

- ・地域医療では一生涯住み続けられるまちという意見を始め、医療の確保など、暮らしでも高齢者同士の交流や見守りなど、高齢でも健康・豊かに暮らすことがポイントの一つとなった。
- ・教育については、学校のみならず趣味の集まりとして、地域コミュニティや公民館的な活動と合わせた学びがあると良いのではという意見があった。
- ・コンセプト、キーワードでは、テクノ市といったアイデアや持続可能なまちの実現、あるいは社会を作っているのは私たちという当事者意識が重要であるとの考え方が示された。

<当日の意見>



#### ■コーディネーターからのコメント

- ・自分事として捉えたさまざまな意見が多く出されたことは非常に良かった。一般論ではなく、日々の生活や実感に基づいた意見が多く共有され、非常に意義深い話し合いとなった。
- ・「安心」というキーワードから広がった議論をはじめ、文化や景観、子どもなど、これまでの検討では十分に取り上げられてこなかった視点やキーワードが数多く挙げられた。
- ・理念や大きな目標が必要であるとの意見もあったが、皆で議論を重ねながら作り込んでいく中で、その理念や目標が形づくられていくものと考えている。理念を先に定めるのではなく、このような話し合いの場から生まれてくる理念こそ、多くの人に共有されるものになる。

#### ■コーディネーターからのコメント

- ・科学だけではなく、多様な視点を取り入れることの重要性について意見が出たことは注目すべきである。
- ・「まちに文化を」という観点から、新しくできたまちに文化を醸成していくという考え方が示された。テクノの魅力を皆で掘り下げながら、「このまちならではの文化とは何か」を具体的に考えていくことが重要である。
- ・交通の不便さを解消するための実験を行うなど、新たな取組に挑戦できる場所として住民が協力するまちであるというコンセプトは、企業を呼び込む魅力にもつながる。SPRING-8 とあわせて、まちの特色を打ち出していく上で重要な視点である。
- ・まちづくりにおいては、住民ができることに主体的に取り組んでいく必要があるという意見が出た。本日の話し合いでも、すぐに実践できることがいくつか挙げられたことは大変意義深い。
- ・さまざまなコンセプトやアイデアが出されたが、それだけまちに対する関心や期待が大きいということであり、今後も広く多様な意見をまちづくりに活かしていく工夫を進めていきたい。引き続き積極的に意見を出してもらえればと思う。集まって話し合うことは、自分とは異なる考え方に触れる貴重な機会である。互いの考えを更新しながら、新しい創造的なアイデアが生まれる場を実現していきたい。

#### 【当日の様子】



以上。